

## 「那賀川水系河川水辺の国勢調査（鳥類）」の結果速報について

－那賀川（長安ロダムを含む）・桑野川の鳥類－

河川水辺の国勢調査は、河川を環境という観点からとらえた定期的、継続的、統一的な河川に関する基礎情報の収集整備を図るものであり、国土交通省那賀川河川事務所では、那賀川・桑野川の国管理区間において、同調査を平成3年度より実施しています。

平成20年度は鳥類調査を実施しており、平成4年度、平成9年度、平成14年度に引き続いて4巡目の調査となります。

平成19年4月より長安ロダムが徳島県から国土交通省に移管されたため、那賀川（国管理区間）と那賀川上流の長安ロダムにおいて、今回初めて同時に調査を実施しています。

## ◆今回の発表

今年度の最後の調査（越冬期）が終了し、那賀川水系の河川水辺の国勢調査【河川版】における初確認種のうち次の2種を速報として発表します。

- ・1月の越冬期調査で、ギンムクドリおよびコホオアカが桑野川で確認されました。（ギンムクドリはムクドリの仲間、コホオアカはホオジロの仲間、日本ではいずれも旅鳥または冬鳥として記録されていますが、徳島県内での記録は少なく稀です。）

十数年来、この調査に携わっている日本野鳥の会員で国土交通省河川環境アドバイザーの小林實氏は「河川を環境という観点から捉えた4巡目の調査で、珍しい野鳥が確認されたのは大きな収穫で、今後も見守っていきたい」と述べている。

## 【参考】

- ・越冬期の調査結果は、別表1，2のとおりです。  
※今回の速報結果は、最終的な確認種目録の確定（調査結果の確定及び妥当性の検証）を行うスクリーニングを経ていないため、暫定版です。

平成21年 2月19日

国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所

【問合せ先】 国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所  
副 所 長 高井 孝明 (内線204)  
調査・品質確保課長 野本 粹浩 【河川関係】 (内線351)  
事業計画課長 清水 幸 【ダム関係】 (内線6121)  
TEL：0884-22-6461 (那賀川河川事務所)  
TEL：0884-66-0121 (長安ロダム管理所)

## ギンムクドリ *Sturnus sericeus*



(平成 21 年 1 月 21 日 桑野川)

写真提供：那賀川河川事務所

◆指定区分：環境省レッドリストおよび徳島県レッドデータブックでの指定なし

### ◆形態

ムクドリくらいの大きさ。雄の頭部は淡黄褐色、嘴の基部は赤く先は黒く、頭部は橙黄色で、体は紫灰黒色。雌は全体的に色が淡い。

### ◆分布

中国南東部に留鳥として分布し、一部はベトナム北部で越冬する。

日本ではまれな冬鳥または旅鳥として、12月～3月頃に確認されることがある。

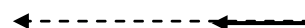
徳島県内では2007年4月に阿南市伊島で確認されているものの、珍しい鳥である。

### ◆生態

生息場所は農耕地・草地・牧場・林縁・市街地等で、木の実や昆虫を食べる。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
日本での繁殖については詳細な情報はなし											

日本で確認される時期 →



参考：「原色日本野鳥生態図鑑〈陸鳥編〉」（1995 中村・中村）、「日本の野鳥 590」（2000 真木・大西）、  
「日本の野鳥」（1998 叶内・安部・上田）、「日本の野鳥 550 山野の鳥」（2000 五百沢）、  
「フィールドガイド日本の野鳥 増補版」（1995 高野）

コホオアカ *Emberiza pusilla*



(平成 21 年 1 月 22 日 桑野川)

写真提供：那賀川河川事務所

◆指定区分：環境省レッドリストおよび徳島県レッドデータブックでの指定なし

◆形態

スズメより少し小さい。全体的に、赤茶色・淡色・黒褐色の縦斑があり、顔は赤褐色をしている。

◆分布

ユーラシア大陸北部で繁殖し、中国・東南アジアで越冬する。

日本では旅鳥または冬鳥として、10月～5月に確認される。

徳島県内では1986年4月に阿南市伊島で確認されているものの、珍しい鳥である。

◆生態

生息場所は平地の林縁、農耕地、草地、川原等で、地上を跳ね歩きながら草木の種子をおもに食べる。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
					ユーラシア大陸で繁殖						

日本で確認される時期 →

← 日本で確認される時期

参考：「原色日本野鳥生態図鑑〈陸鳥編〉」（1995 中村・中村）、「日本の野鳥 590」（2000 真木・大西）  
「日本の野鳥」（1998 叶内・安部・上田）、「日本の野鳥 550 山野の鳥」（2000 五百沢）、  
「フィールドガイド日本の野鳥 増補版」（1995 高野）

表 1 【河川版】越冬期調査結果（速報）

目名	科名	和名	重要種選定基準				外来種	
			①	②	③	④		
カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ						
		ハジロカイツブリ						
		カンムリカイツブリ				NT		
ペリカン	ウ	カワウ						
コウノトリ	サギ	ダイサギ						
		コサギ						
		アオサギ						
カモ	カモ	オシドリ			DD	VU		
		マガモ						
		カルガモ						
		コガモ						
		オカヨシガモ						
		ヒドリガモ						
		アメリカヒドリ						
		ホシハジロ						
		スズガモ						
		ウミアイサ					VU	
タカ	タカ	ミサゴ			NT	VU		
		トビ						
		オオタカ		国内	NT	VU		
		ハイタカ			NT	NT		
		ノスリ						
		ハヤブサ	ハヤブサ		国内	VU	VU	
			チョウゲンボウ					
キジ	キジ	ウズラ			NT	VU		
ツル	クイナ	オオバン						
チドリ	タマシギ	タマシギ				VU		
		チドリ	イカルチドリ					
		チドリ	シロチドリ				VU	
	シギ	ハマシギ						
		ミユビシギ						
		アオアシシギ						
		クサシギ						
		イソシギ						
	カモメ	タシギ						
		ユリカモメ						
		セグロカモメ						
		オオセグロカモメ						
		カモメ						
ウミネコ								
ハト	ハト	ドバト					○	
		キジバト						
ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ						
キツツキ	キツツキ	コゲラ						
スズメ	ヒバリ	ヒバリ						
		ツバメ	イワツバメ					
	セキレイ	キセキレイ						
		ハクセキレイ						
		セグロセキレイ						
		ピンズイ						
		タヒバリ						
	ヒヨドリ	ヒヨドリ						
	モズ	モズ						
	ツグミ	ジョウビタキ						
		イソヒヨドリ						
		シロハラ						
		ツグミ						
	ウグイス	ウグイス						
		セッカ						
	エナガ	エナガ						
	シジュウカラ	ヤマガラ						
		シジュウカラ						
	メジロ	メジロ						
	ホオジロ	ホオジロ						
		ホオアカ						
		コホオアカ						
		カシラダカ						
アオジ								
オオジュリン								
アトリ	カワラヒワ							
	ベニマシコ							
	イカル							
シメ								
ハタオリドリ	スズメ							
ムクドリ	ギンムクドリ							
	ムクドリ							
カラス	ハシボソガラス							
	ハシブトガラス							

12目30科79種

0

2

6

10

1

：重要種

表2 【ダム湖版】越冬期調査結果（速報）

参 考

目名	科名	種名	重要種の選定基準				外来種
			①	②	③	④	
カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ					
ペリカン	ウ	カワウ					
コウノトリ	サギ	ゴイサギ					
		コサギ					
		アオサギ					
カモ	カモ	オシドリ			DD	VU	
		マガモ					
		カワアイサ					
タカ	タカ	トビ					
		ハイタカ			NT	NT	
		クマタカ		国内	EN	CR+EN	
	ハヤブサ	ハヤブサ		国内	VU	VU	
ツル	クイナ	オオバン					
ハト	ハト	キジバト					
		アオバト					
		ヤマセミ				VU	
ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ					
		アオゲラ					
キツツキ	キツツキ	コゲラ					
		セキレイ					
スズメ	セキレイ	キセキレイ					
		セグロセキレイ					
	ヒヨドリ	ヒヨドリ					
	モズ	モズ					
	カワガラス	カワガラス					
	ミソサザイ	ミソサザイ					
	イワヒバリ	カヤクグリ				NT	
	ツグミ	ルリビタキ				NT	
		ジョウビタキ					
		イソヒヨドリ					
		シロハラ					
		ツグミ					
	ウグイス	ウグイス					
		クイタダキ					
	エナガ	エナガ					
	シジュウカラ	ヒガラ					
		ヤマガラ					
		シジュウカラ					
	キバシリ	キバシリ				VU	
	メジロ	メジロ					
	ホオジロ	ホオジロ					
		ミヤマホオジロ					
		アオジ					
クロジ							
アトリ	アトリ						
	カワラヒワ						
	マヒワ						
	ウソ						
	イカル						
ハタオリドリ	スズメ						
カラス	カケス						
	ハシボソガラス						
	ハシブトガラス						
10目26科52種			0	2	4	8	0

重要種

## 注 1) 重要種の選定基準

- ①：「文化財保護法」(1950)における特別天然記念物、国・県・市町村指定の天然記念物
- ②：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1993)における国内希少野生動植物種  
国内：国内希少野生動植物種
- ③：「改定・レッドリスト(鳥類)」(環境省、2006)  
EX：絶滅、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：地域個体群
- ④：「徳島県の絶滅のおそれのある野生生物—徳島県版レッドデータブック—」(徳島県、2001)  
EX：絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：地域個体群、AN：留意  
※「徳島県の希少野生生物の保護及び継承に関する条例」(2006)の指定希少野生生物に鳥類は含まれない

## 注 2) 外来種のカテゴリー

国外：人為的に国外より持ち込まれたと考えられる国外移動種

※外来種の選定基準は、「外来種ハンドブック(日本生態学会、2002)」の「日本の外来種リスト」に従った。



### ◆調査の概要【河川版】

参 考

- ・ 調査方法：スポットセンサス法、集団分布地調査
- ・ 調査範囲：那賀川0～17km、桑野川-1～9km
- ・ 調査時期：春の渡り期、繁殖期、秋の渡り期、越冬期

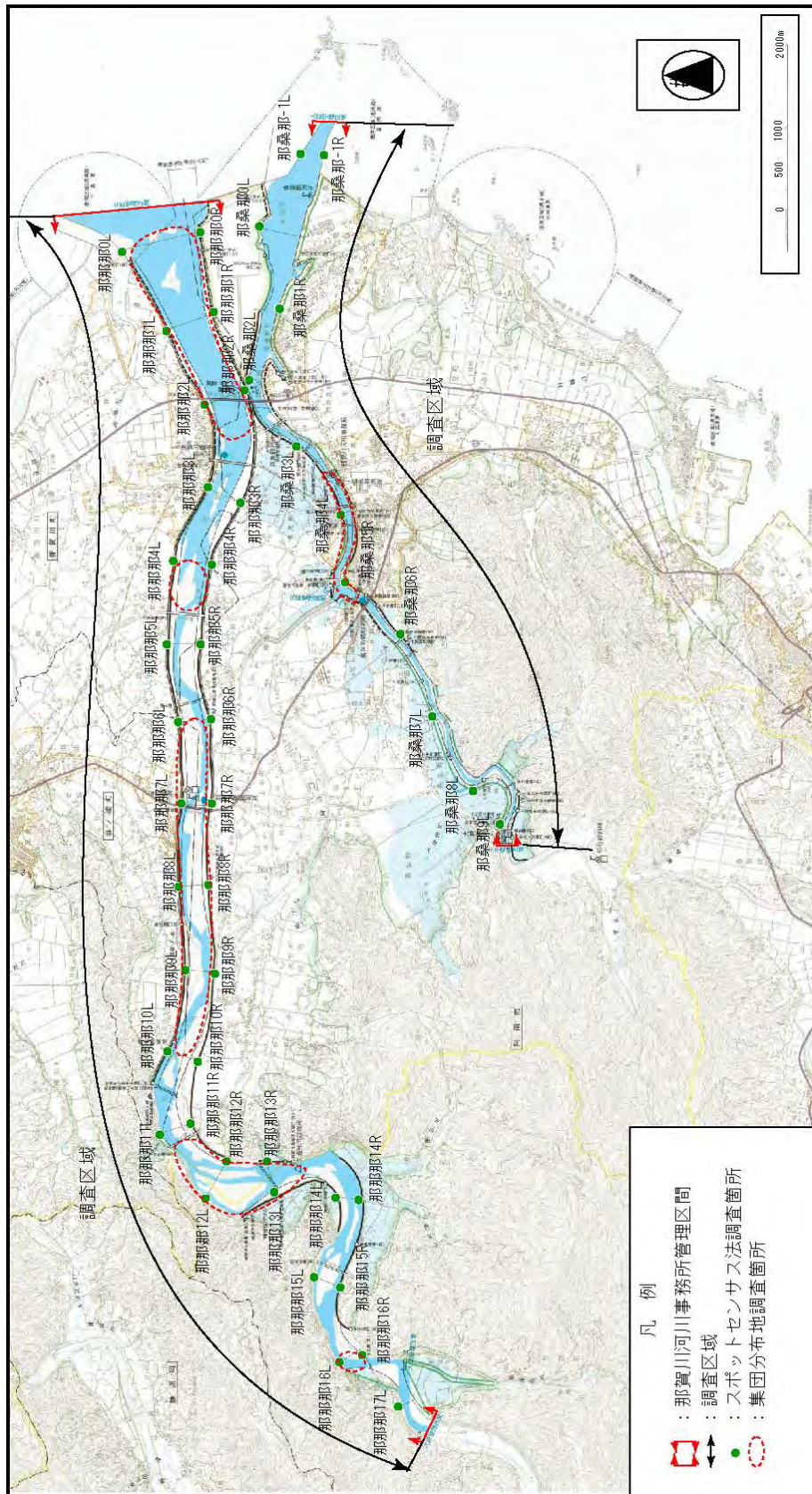


図1. 那賀川水系河川水辺の国勢調査【河川版】調査地区位置図



◆調査の概要【ダム湖版】

- ・調査方法：スポットセンサス法、ラインセンサス法、船上調査、広域定点調査、夜間調査
- ・調査範囲：長安ロダム貯水池および周辺、下流河川那賀川、流入河川那賀川、流入河川坂州木頭川
- ・調査時期：繁殖期、越冬期

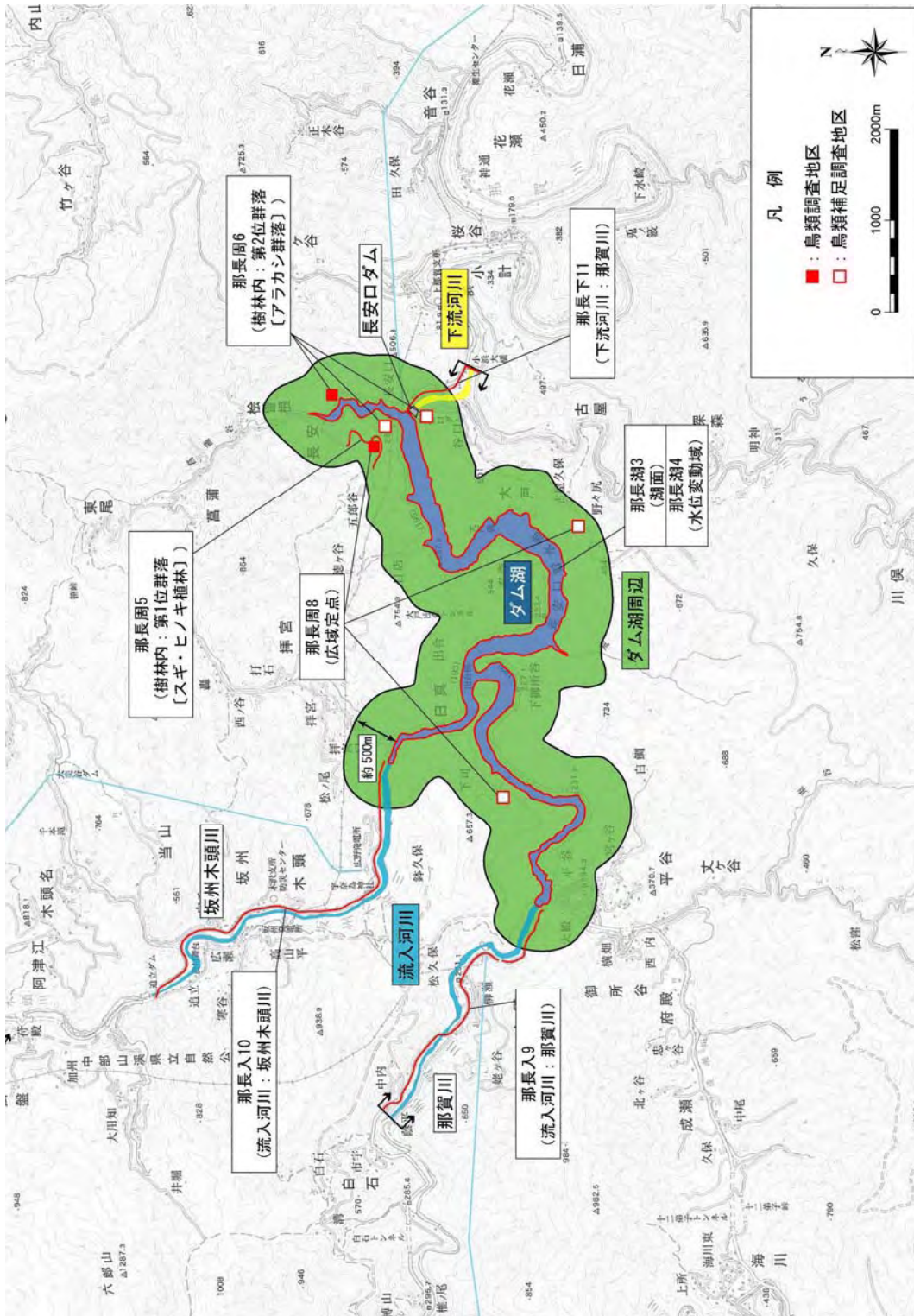


図2. 長安ロダム河川水辺の国勢調査【ダム湖版】調査地区位置図